

長崎大学環境配慮の方針の公表にあたって

長崎大学の理念には、「地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する。」ことが謳われています。ここに込められた地球平和を実現するという積極的な意志と、地球環境を保全し将来の世代に残したいという精神には、寸分の違いもないと考えています。

長崎大学では、1997年10月に、国立大学で最初の環境問題に関する専門学部である環境科学部を発足させ、これまで、環境問題に対して積極的な教育・研究活動を進めて来ました。今後もさらに、環境科学を中心とするすべての専門分野において環境に関する教育・研究活動が発展していくと確信しています。

また、2004年4月、長崎大学は、他の国立大学とともに国立大学法人に移行し、2005年3月には、特定事業者としての指定を受けています。すなわち、長崎大学におけるすべての大学活動によってもたらされる環境負荷を低減するために、大学自らが努力することが社会的責務なのです。

このような基本的考えに立ち、長崎大学の環境配慮の方針を、昨年設置した計画・評価本部環境専門部会において検討を重ね、本年3月22日の教育研究評議会で審議・了承された成案を、ホームページ上で公表するに至りました。

この環境配慮の方針を、長崎大学構成員のすべてが深く理解し、社会の皆様と共に、環境を保全しつつ持続的な発展が可能な社会の実現に向けて、最大限の努力と継続的改善を進めて行きたいと考えています。

2006年3月環境配慮の方針公表に際してのメッセージより
(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/guidance/message36.html>)

長崎大学環境配慮の方針

地球環境の保全と人間社会の持続的発展に寄与することは、長崎大学の社会的責務であるという認識に立ち、環境科学部を擁する総合大学としての特徴を活かした環境保全に関する教育研究活動を推進するとともに、長崎大学のすべての活動に伴う環境負荷の低減を図ることによって、社会からの要請に応えるため、次の基本方針を定める。

1. 環境の保全に関する教育研究活動を推進する。

- (1) あらゆる専門分野から環境問題への教育研究を進め、環境配慮に貢献できる人材を育成する。
- (2) 多様な専門分野が連携した環境研究を遂行する。
- (3) 国際的環境研究・教育への協力、環境問題の相互理解と情報の共有を推進する。
- (4) 産学官連携による環境研究を推進し、その研究成果の社会への還元に努める。
- (5) 環境保全等に関する知識・技術を発信し、地域との連携・コミュニケーションを推進する。

2. 学内におけるすべての活動に伴う環境への負荷を低減する。

- (1) エネルギー使用量の抑制、廃棄物の削減、資源のリサイクル等を積極的に推進する。
- (2) 環境関連法規、規制と学内規定等を順守する。
- (3) 環境汚染を予防し、キャンパス内の環境の保全・改善を図る。

3. 大学運営システムの一部としての環境マネジメントシステムを構築し、定期的に見直すことによって、継続的改善を図る。

4. 環境配慮の方針及び環境配慮等の状況を、本学ホームページ上に公表することによって、本学構成員に周知し環境配慮の意識向上を促すとともに、社会への説明責任を徹底する。

2006年3月23日 長崎大学長
齋藤 寛